

大津島データ 164 世帯
人口 227 人 男 94 人 女 133 人
高齢化率 79.2%
(令和 2 年 7 月 31 日現在)



潮流

題字：末兼南子さん イラスト：大津美子さん

島の絶景

三ツ石



こんな絶景がこの島にあったのか！
そんなテーマで、まだ島民にもよく知られていない絶景を紹介して行こうという企画です。1 回目は三ツ石。白く切り立った断崖は皆さんも良くご存知の風景ですが、その下に、もう一つの美しい風景が存在するんです。採石場の入口から入って、奥に進んで行くと…。

株式会社中野グラニット代表取締役中野悦男さんにお話を聞きました。

取材：渡邊あゆ子

■三ツ石の言われは？

中野：以前は今の採石場に三軒の石屋（中野・藤原・今岡）があったからだと言われています。

■採石の歴史は？

中野：明治 40 年頃初代（祖父母）が四国の伯方島から移住、それ以前から採石をされていた人から権利を買い取って始めたそうです。以来島のたくさんの人たちが作業に携わって来ました。大坂城の石の 20～30 倍の石を切り出していました。

■あの『湖』が出来たのはいつ？

中野：採石をしている時は無かったんです。水は出ていたんですが、ポンプで汲み上げながら掘っていた。なぜ地下を掘っていたのかというと、地下の方が固まった岩盤があるからです。（写真参照）

平成 17 年に採石をやめたんですが、そうしたらすぐ水が溜まった。そして今の状態になったんです。

■私が子供の頃は湖があるという話は聞かなかったの、見た時は本当にびっくりしたんです。確かに、最近出来たのなら知らないはずですね。鯉がいるとも聞きましたが？

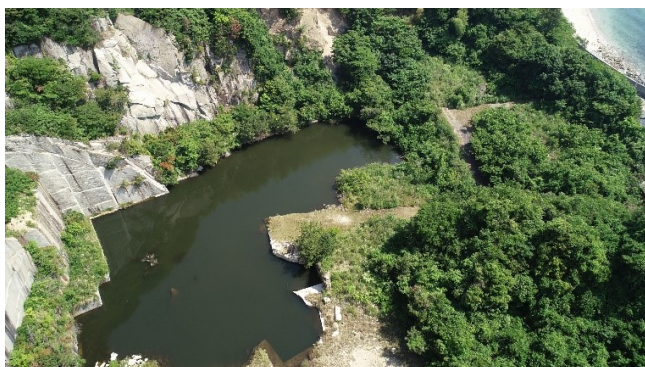
中野：今岡さんが入れたんです（笑）。今ではずいぶん大きいのがいますよ。

■白く切り立った花崗岩の断崖と、その下に広がる青い大きな湖。

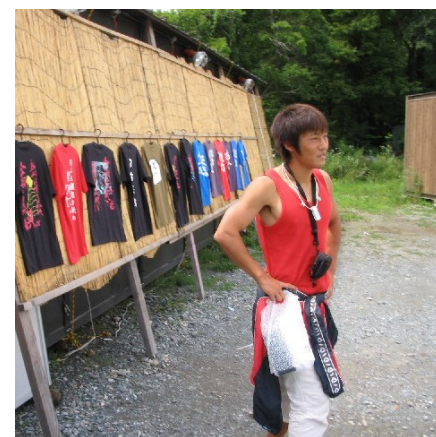
本当に美しいです。この石の壁の前で手を打つと、音がこだまして、神秘的です。皆さんにもっと見てもらいたい気もしますが、近くに行くのは危険なんですよ？

中野：はい。湖は深い所で 15～20 メートルくらいあるし柵も無いので、引率者がいる時以外は立ち入り禁止です。

■残念ですね。でも、島の中にこんな絶景があると言うことは、ぜひ皆さんに知っておいてもらいたいです。採石とそれに携わるたくさんの人々の思いが偶然に作った絶景です。



「なんちゃって夏男」



文川馬島待合所 内山剛

私は夏男を自称している。夏好きだと気づいたのは、意外とつい最近である。そのきっかけは学生時代に遡る。ラグビー部に所属していた当時、夏の練習は本当に地獄だった。走って当たって、最後の 3000m のランで失神に近い状況までなっていた日々。ギラギラと照りつける太陽が本当に憎らしかった。夏の練習が嫌で嫌で、親しい先輩から当時、「剛は練習が終わったらよく喋るようになるな。」と皮肉を言われていた。

それが・・・である。数年前の夏のある日、あの日々と同じような空。太陽と雲。ふっとあの頃の情景が蘇った。どこか淡く、幸せな気分になった。

むさ苦しいスポーツに打ち込むだけで、女つ気もない 4 年間だったが、お金では買えない「何か」を得られたと今では思っている。

徳山湾見聞録

23 いとも強い風が吹くんですよ。だから長靴です

文川回天記念館 三崎英和

今年も台風シーズンがやって来ますが、皆さんのおっしゃ（※この「びっしや」）宅では準備はできていますという言葉は山口県特有のか。その台風の時に吹く風、方々みたいですよ。そこでは、時に上空の何も無い空、必要なのが長靴。家を出る間、ゴーという音を響かせ、時に長靴を履くのは小学校ですが、それはなんとも不気味な感じがします。これまでこうした音を聞く機会、妙に水たまりを歩きたくな、といえば、そんな台風の時の、私は私だけでしょ。うか。ぐらいいしありませんでし「どうだい濡れないぞー」と得意そうに歩いてしま

しかし大津島に来てからは、馬島港からふれあいセンターまでの間で、台風以外の日にも耳にすることがよくあります。そこは、島と島の間にあたるため風の通り道になっていること、強い風が吹くのでしょ。う。

ただ、風だけが強いのは一向に構わないのですが、それに雨が伴うと厄介ですよ。場所場所で微妙に変わる風向きに合わせて傘を

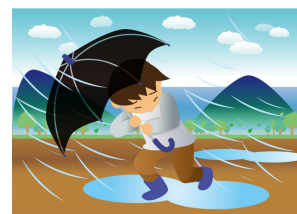


イラスト 三崎英和

海浜清掃後、稚魚運搬車からバケツリレーで稚魚（ヒラメ）を運び、浮き桟橋で子供たちによる放流が行われました。子供たちの笑顔で疲れが吹き飛びました。



7 月 18 日（土）刈尾海岸清掃が行われました。刈尾自治会・若潮の会・釣り団体協議会等の皆さん、暑い中、お疲れ様でした。



8 月 12 日（水）に大津島ふれあいセンターで民生委員・児童委員協議会定例会を開催しました。民児協委員 6 名と市長が出席され、意見交換がなされました。



島内でのコロナウイルス感染予防と島民の足となる大津島巡航などについて、気にかけておられました。

行事報告

文川原田和保

さっきまで夕陽に輝いていた海は暗くなり、漁船が一艘淡く白い航跡を残し港を出てゆく。足元で小さな波が、タプタプと唄う。

暑かった今日の終わり。島の家々に次々、明かりが灯る。その一つひとつが辛い一日の労働から解放された安堵と誇りだ。父や母の帰りを待ちわびた子供達の辛抱の華だ。一つの明かりにひとつずつの物語。だからだろうか、島の家々の明かりは美しかった。沖の波止から見ると暗い山のシルエットにキラキラ重なり合う明かりは命の輝きのようで、大好きだったひと昔。

今、波止から眺める島は暗い。家々の明かりは、あの美しかった明かりはもう数える程しかない。空き家が増えて明かりの付かない家が増え、じげ（集落）のあちこちに闇が居座る。

あの闇は酒が好きで時々酔っ払っていたバア様の家あたり、こっちの闇は子供をかしらうのが好きで、よく男の子達と追っかけっこをしていたジイ様の家があったところ、昔住

知っちょるかね

薄明の夕暮から暗き夜は静かに唄う

文川松本千恵子



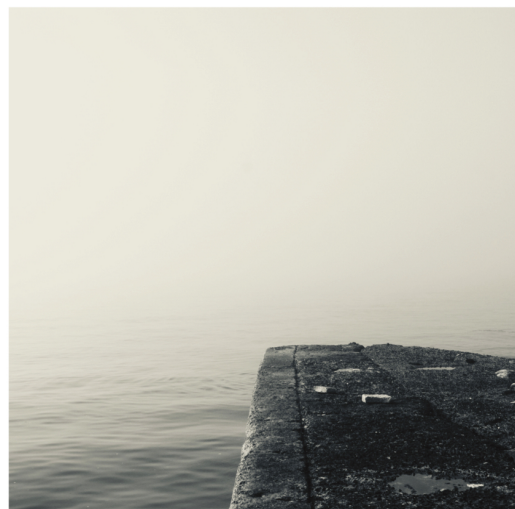
んでいた井戸から遠い家はあの辺りか。水汲みは面倒くさくてイヤだったなあ。でも、井戸水で冷やした胡瓜やトマト、美味しかったこと。などと無いものねだりの懐かしさに浸っていたら、上の畑から、ブヒッと言う鼻息が響く島。ニンゲン様が元気がなくなったら、猪めが調子こいて昼間でも海辺の道を闊歩する。

その上、ここに来てコロナという目に見えん敵が現れた。

高齢化過疎猪コロナ！いっそのこと島のキャッチコピーにでもしてみたらどうじゃろうか。島は負けりゃあせんよ。昔から二十六夜ちゅう、疫病を退散させる祭りも有る。先人はそうやって戦ってきたんだもの。

その末裔の私達にもその血が流れている。きつと耐えて戦いに勝利すると思っいね。

今現在は耐えるしか無い時期じゃけど、ここを乗り越えたら、新しい時代になって、今が昔話になることじゃろうよ。



羊の羽は丘にあり

【からっぽな豊かさ】
なにもない、からっぽな空白や余白が最も豊かなのだと、本の中でたくさんの方が、さまざまな言葉で伝えてきました。

最初はその豊かさの意味がよく分からなかったけれど、それを知るに至るには、自分自身が、からっぽな豊かさを目の当たりにした時、そこで感受したものを言葉にしようと努力して、はじめて気付くものなのでしょうね。

松田翔剛

vol 17

天浦-三ツ石間市道



馬島-柳浦間市道



※7月大雨による崩落事故は、仮復旧致しました。

新型コロナウイルス感染症は、全国規模で日々感染者が増え続けております。県境をまたぐ移動については、移動先の状況等確認のうえ、慎重な行動をお願いします。また、こまめな換気や3密（密集・密接・密閉）の回避も心掛けましょう。

長持唄のこと

※長持唄とは、それは人を明るくする、にぎやかしの行列。

♪ もーしもーし車屋さん

♪ 此处から駅までなんぼです

本浦地区に伝わる長持唄の歌い出しです。江戸時代の末頃から結婚式やお祝いの時に行われてきたと言われています。保存会の安達雅之さんにお話をお聞きしました。



インタビュー：渡邊あゆ子

■雅之さんが始められたのはいつ頃ですか？

雅之：昭和 53 年頃。40 代の頃かな。その頃は保存会ではなく同好会みたいなもので、母親達がやっていて、それに加わるようになった。保存会を作ったのは昭和 60 年代。

■行列を作って練り歩くんですよね。構成はどうなっていたんですか？

雅之：先頭から①ひょうきん者（にぎやかし・拍子）②子供・娘③一斗樽をかつぐ者④口説き⑤長持をかつぐ者⑥女⑦子供

男は赤い着物、一斗樽や長持は笹に短冊で飾り付け、長持には餅を入れた。

■聞いているだけでにぎやかで楽しそうですね。苦勞された所は？

雅之：にぎやかしだから、樽や長持を大きくしゃくり上げる（揺する）程良かった。おかげで肩の皮が剥げたりした。

■足さばきも難しそうですね。

雅之：拍子に合わさんといけんのに、慣れん者は前の者の足ばかり見とった。それでよけいに間違う（笑）。

■島の中だけでなく、いろんな催しに出場されたんですよ？

雅之：徳山の産業祭に出たり、文化会館でやったこともある。

■印象に残っている思い出は？

雅之：産業祭に出た時、子供がわしの事をじーっと見ているので、笑うまいと我慢していたらカツラが脱げた。「あー、女かと思ったら男じゃー！」と言われた。

■そんな楽しい長持唄ですが、保存会が無くなったのは寂しいですね。

雅之：もう人数がおらんよ。

雅之さん、ありがとうございました。長い間、お疲れ様でした。



お知らせ

【次回潮流発行予定日】
11月1日 第276号

移動図書館 やまびこ号ジュニア

9月12日（土）、10月20日（火）

馬島11：30～ 刈尾12：20～

【9月～11月の主な島の行事予定】

11月8日（日）

回天搭載戦没潜水艦乗員追悼式

善意銀行へのご寄付ありがとうございます

▼預託者

南風凧万金担 様 金4万円（大津島社協）

米沢 痴達 様 金3万円（大津島社協）

【編集後記】

梅雨時期は各地区崩落事故等あり、一時期通行止めがありました。島民の皆様の協力も有り、一応仮の復旧となりました。引き続き、台風と一難去ってまた一難と悩むこの頃です。

文責：原田 和保